

# 男

性が危機に陥ると、戦争が起きる、という説がある。  
ジョージ・L・

モッセは「男のイメージ」という大著のなかで、戦争という手段を通じて「男である」という自由を得たという感覚は、広く分かち持たれていた。だなんて書く。ぎょっとするけど、うーん、ちょっと考えなおさなくてはいけないかもしれない。「男である」という自由。組織的な戦いを通して、メカを駆使し、精神や肉体の力を存分に発揮する、というマッチョな快楽は、抑圧してはいけないのではないのか。ホンモノの戦争を避けるためにも。

マジな戦争なんて悪行に走らず、「男である」という自由を平和的に満喫している21世紀戦士はどこに？ おや、スペインはパレンシアの方向から吹いてくる潮風のなかに高貴なるマッチョ香が…。香りの源には、おおっ、ヨットレース「ルイ・ヴィトン・ヴェイトン・ヴェイトン・ヴェイトン」で覇を競い合うヨットマンたちがいる！

このレースは、2007年4月から始まる「ルイ・ヴィトン・ヴェイトン・ヴェイトン・ヴェイトン」の前哨戦。「ルイ・ヴィトン・ヴェイトン」の勝者には、さらなる至高のチャレンジが待つ。世界最古の銀杯をかけた「アメリカズカップ」である。「アメリカズカップ」は1851年、ロンドン万国博覧会を記念して催されたヨットレースに始まる。ニューヨークの「アメリカ」号が、迎え撃つ英国側の十数隻の強豪をおさえて勝利、純銀製カップをウィクトリア女王から授与された。この銀杯こそ「アメリカ」号の栄誉をたたえて命名された、アメリカズ

# Sanctuary of the Lost Samurai

中野香織の  
“落日のマッチョ”

## アメリカズカップは 海のマッチョたちの一大サーガ

五つ星を授けるに値するマッチョたちはどこに？  
今月はヨットレースという聖域で盛り上がっている  
男たちを見つけて、ほめてみた。  
いい男はとにかく、ほめて育てよ。

Text by Kaori Nakano



カップ。現在、保持するのは2003年の勝者、スイスのチーム・アリンギで、2007年6月に防衛艇としてルイ・ヴィトン・ヴェイトン・ヴェイトン・ヴェイトンの勝者の挑戦を受ける。

そして美しいヨットを乗りこなすこと…。これは戦争ゲームだね。風や波を読み、メカを使いこなす知性をも求められるゆえに「水上のチェス」とも呼ばれるヨットレースは、やはり一種の戦争ゲームでもあったか。ただ、アメリカズカップがどこか特権的に優雅なのは、その歴史に負うところ

最新鋭のハイテクを駆使したヨットには、17人のクルーが乗り、各自の任務を遂行しつつ勝利をめざすわけだが、このヨットレースのどこがマッチョか？

あるヨットマンのこぼれを聞こう。「アメリカズカップは、世界の縮図。あらゆる種類の魅力がある。複雑なルールのレースを勝ち抜くための戦い、天候や波といった自然との戦い、

も大きい。紅茶王のサー・トーマス・リプトン、ポールベンのピク社でも成功したゴージャスな男たちの熱い勇者ぶりを伝える数々の逸話にいろどられているのだ。歴史そ

のものが、一大サーガ。そんな華麗な伝統に支えられ、最先端のテクノロジーを競い合うアメリカズカップにルイ・ヴィトン社が共感をおぼえ、1983年アメリカズカップ挑戦艇決定戦のスポンサーを開始した話も、よくすんなりと歴史のなかにおさまる。

なお、各ヨットにはレースに関わらない「18人目の男」が乗る。サイドラインで観戦するんじゃないやなくて、艇上でスピードや怒鳴り声やためぐセルの音を間近に体感したい！と願う男（ただしスポンサー候補がのぞましい）に許される。戦車に乗せてもらって目を輝かすような、良家の「男の子」っぷりにも類がゆるみます。



アメリカズカップに挑戦するためには、ルイ・ヴィトン(LV)カップを制さなければならぬ。LVカップは2004年から始まった新しいレガッタで、LVカップへの前哨戦。とはいえ、各アクトでの順位は本戦へ勝ち点として付与され、シード権獲得にもなることから、勝者の笑顔もひととき美しい。

### 中野香織(なかの・かおり)

服飾史家・コラムニスト。1962年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て文筆業に。『着るものがない』(新潮社)を近々刊行予定。

PHOTOS FROM TOP: LUCA VILATA / LOUIS VUITTON, BOB GREISER, SOCHA FRACK / GAMMA / IPINET.COM